

## 申14号 組合員と家族の生活確保とモチベーション維持・向上を求める 2021年度夏季手当等に関する緊急申し入れ 団体交渉詳細！

### 申13号回答(2.0ヶ月)を受けた組合員の声を突き付ける！

#### 組合

- ◆申13号の回答に、全く組合員一人ひとりの日々の生活と、暮らしに関する事が記載されていない！
- ◆会社のいうモチベーションと、私たちが求めているモチベーションが真逆である！魅力がある職場を創りたいと思うが、会社は仕事のしやすさを削っていく。会社は「理解してほしい」というが、現実とかけ離れているから理解できない！
- ◆工程や施工方法の検討など、知恵を出し合って固定費削減に努めてきたし、施策のオンパレードの中、今まで以上に勉強し、悩みながらも頑張っている。その努力に報いるべきだ！
- ◆生活が厳しく、借金をして各種支払いに充てなければならない。積立年金を解約しなくてはならない。無利子貸付など考えるべきではないか！



#### 会社

・回答書にある通り「社員一人ひとりが職責にひたむきに尽力している事を重く受け止め」「構造改革に向けた新たなチャレンジに期待して」会社として判断した。

### 再申入れの意味を会社は重く受け止めるべきだ！

#### 組合

申13号は2.0ヶ月の回答。1987年以降過去最低の月数。21春闘においてはJRグループで東日本のみ定期昇給カット。これまでの生活設計が成り立たなくなる。組合員のモチベーションは低下している。議論期間が短い夏季手当交渉において再申し入れを行っていることについて重く受け止めるべきだ！

組合員・家族も含め、1年以上のコロナ禍を耐え抜いて、奮闘している。ワクチン効果も含めて明るい兆しが見えている今、組合員の実現を受け止めて、その奮闘に報いることを第一に判断していないと認識されている事に、経営幹部は危機感をもつべきだ！

第1回交渉から回答まで一貫して、生活実感に重きを置いていないことに危機感があると述べた。私たちはそのような会社姿勢を危惧し、そのような姿勢は認めるわけにはいかない！今なおコロナ禍の中、奮闘している組合員の想いを受け、生活確保とモチベーション維持・向上を求めて、今交渉に臨んだが、平行線であり、回答は対立。納得できず、不満があることを強く述べる。今後については、今交渉を組織内で議論して判断していく！

#### 会社

・再申し入れについては受け止めて、速やかに団体交渉を行った。申13号の回答については第2回交渉を中心に訴えを受け止めて判断している。それに対する評価はあるだろうが、どこまで支給できるかと判断している。将来に向けた取り組みについて、社員と一緒に進んでいけるよう考えを共有して取り組んでいきたい。それが好循環の入り口として大事なことである。

—— 全組合員で職場議論を創りだそう! ——